

2026年3月4日

一般社団法人 日本船主協会

イラン及び中東情勢に関連した「海上安全等対策本部」の第1回会合開催について

当協会は今般のイラン及び中東情勢に鑑み、3月1日付で長澤仁志会長（日本郵船会長）を本部長とする「海上安全等対策本部」を設置しておりましたが、本日、「海上安全等対策本部」の第1回会合を開催し、関連情報の収集・分析と、会員各社への適時適切な情報提供の継続、更には今後の主な課題などについて確認しました。今次会合の概要は以下の通りです。

「海上安全等対策本部」第1回会合

日 時：2026年3月4日（水）13：10～13：30

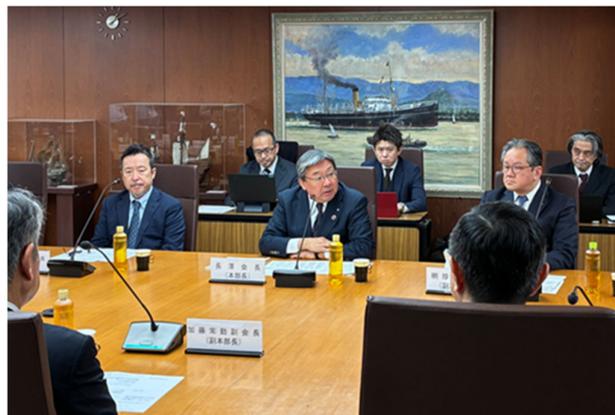
場 所：日本船主協会会議室（対面・オンライン）

出席者：長澤本部長（会長）、明珍副本部長（副会長）、

大谷副本部長（常任委員、海上安全委員長）、加藤副本部長（常勤副会長）他

主な内容

- ・ 様々な情報が錯綜する中、当協会は北米地区事務局を中心に、イラン情勢を巡る米国政府の動向を注視するとともに、日本政府等を通じた確度の高い情報収集に努め、会員会社に適時適切な情報提供を継続することを確認。
- ・ ペルシャ湾に留め置かれている日本関係船舶の乗組員や中東地域の駐在員・帯同家族の安全確保を最優先とし、当該地域からの退避に向け、関係当局等と連携して対応していくことで一致。



わが国は原油の 94.6%を中東諸国からの輸入に依存しており、当協会は船舶および乗組員の安全確保を第一義としつつ、原油をはじめとする物資の安定輸送に向け、引き続き最善の努力を図っていきます。

以上